



うおっち Watch

発行：湖西中学校区園小中+高一貫教育推進委員会 担当：地域連携部会

<タイトルの「うおっち」には18年間の育ちを「地域でWatch（見つめる）」という意味を込めています。>

高島市では、平成23年度から全中学校区において小中一貫教育を推進し、小中教職員による共同授業研究や、子どもたちの交流活動等の特色ある取組を展開してきました。

湖西中学校区5つの校園においても、これまでの取組を引き継ぎ、「つながりの中でたくましく学ぶ子どもの育成」をめざすとともに、子どもたちには、接続期の「段差」を乗り越える力を育みたいと考えております。

また、研究主題を『18年間の子どもの発達段階を意識した「育ち」と「学び」のつながりを重視した教育の実践』とし、「保幼小中高が一体となって子どもたちの『確かな学び』の実現と『豊かな育ち』の育成をどのように保証していくか』という問いを立て、5つの部会（裏面参照）を編成し、取組を進めております。

特に園から小、小から中、中から高の接続期の課題を明らかにし、その課題（「段差」）を乗り越える力を子どもたちの中に育てていくことを、最大の目標にしています。

一方、昨年度と今年度の2年間、新旭南小学校区においては、「学びに向かう力推進事業（幼保小連携）」の研究指定を受けており、その取組や実践を、湖西中学校区の接続期において、今まで培ってきた子どもの育ちや学びが途切れることなくつながり、更に発展・深化していくための基盤にしたいと考えております。

保護者、地域の皆さま方には、引き続きご理解ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

湖西中学校区園小中+高一貫教育推進委員長 梅村 俊樹（新旭南小学校長）

【縦のつながり】

園・小・中・高の教職員が一堂に会して、新旭の子どもたちの「育ち」と「学び」における良さと課題について協議する。また、各校園の特色を生かしながら、共通の指導内容を考えたり、課題解決に向けての実践を積み重ねたりすることで、正しく判断し、たくましく生きる子どもを育成する。

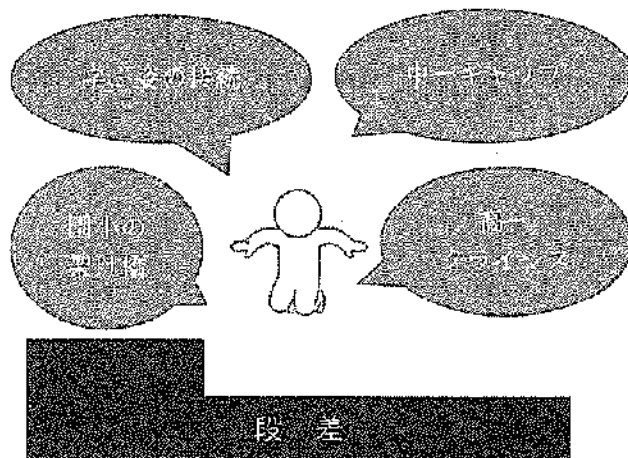
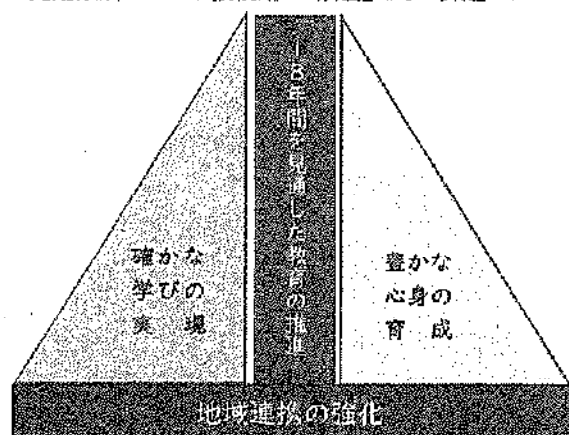
【横のつながり】

湖西中学校区各校園は、保護者・地域の皆様と深く関わり、大きな支えを得ながら教育活動を展開してきた。今年度も、保護者・地域の皆様とつながり響き合いながら、教育活動のさらなる充実を図り、適切な指導支援により子どもたちを導く。

▲ 地域連携を土台とした18年間を見通した学びと育ち

令和7年度 取組の重点

発達段階における接続期の『段差』とその課題 ▼



接続域の育ちと学びの「段差」の明確化とその段差を滑らかにするための方策とその実践

令和7年度 湖西中学校区保幼小中+(プラス)高一貫教育 【組織紹介】

園小部会では、昨年度に引き続き、互いの保育・授業を参観し、より深く理解し合いながら、「つながりを意識した取り組み」を行いたいと考えています。

校区・校種の垣根を越えて、園内研や校内研に参加し、実際に子どもたちの様子を見たり、教師や保育者の思いや願いを共有したりしながら、園から小学校への学びのつながりを意識した保育改善・授業改善につなげていきたいと思っています。

また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有し、園と小学校の段差を滑らかにすることで、子ども一人一人の力を引き出したり、園で育まれた力を踏まえて小学校教育を行ったりしていけるよう、連携や相互理解を深めたいと思います。

【学ぶ姿の接続】

本部会では、園や学校での子どもたちの育ち方に注目して、取組を進めています。友だちや仲間とどのようにコミュニケーションをとり、関わりを深めていくのか、集団生活でのルールやマナーをどのように身に付けていくのか等、子どもたちの育ち方の柱を部会で見つめ直し、教師や保育士の支え方を定めていっているところです。部会内での情報共有や協議をすることで、各校園の子どもたちを部会員全体で支えていこうという自分事としての意識で進めています。

【中1ギャップ】

6年生にとって中学校への進学は、期待を膨らませると同時に不安も覚えます。中1ギャップ部会では、小6と中1の接続期における「段差」や「進学の不安」を少しでも軽減させるために、

- ① 北小6年生と南小6年生との交流、中学生陸上部の先輩から市陸上記録会に向けてのレクチャー（9月22日予定）
 - ② 中学校での両校合同授業・部活動体験（10月22日予定）
- などに取り組めます。

【キャリア教育】

キャリア教育部会では、中学校2年生が安曇川高校での体験入学と高島高校からの出前授業を予定しています。3年生での進路指導の前段階で「高校」を体験することの意義は実証済みです。引き続き実践していきたいと思っています。また、小学校高学年において、中学校卒業後の進路について考える視点を検討することや、小学校の教師が中学校のキャリア教育の実態について学ぶ機会をもつことも考えています。

地域連携部会では、情報収集・情報発信を通して地域と連携し、子どもたちの「確かな学びの実現」と「豊かな育ちの育成」を支える土台となっていけるように、次の活動に力を入れていきます。

- ① 広報誌「うおっち」の発行・・・小中一貫教育の各部会の取組や、各校園での活動などを発信します。
- ② 新旭地区行事カレンダーの作成・・・保護者や地域の皆様に、各校園での取組を把握していただくために、行事カレンダーを作成し、配付します。
- ③ 学校地域連携カリキュラムの作成・・・各校園の「学校地域連携カリキュラム」をもとに、中学校区の学校地域連携カリキュラムを作成します。「環境」「栽培・食育」「キャリア」「福祉・防災」「体と心づくり」の5つの柱について、各校園でめざす子どもの姿を共有するとともに、お互いがどのような活動を行っているかを見える化することで、今後の活動の見直し等に活用していきます。